令和７年度エコパークあぼしモニタリング確認・評価会議記録要旨

１　日　時　令和８年７月２７日（月）午後２時００分から午後３時００分まで
２　場　所　姫路市立網干環境楽習センター１階　エコパークあぼし　会議室
３　出席者　高田光康氏、松村千里氏、武尾正弘氏、朝尾直介氏、丸喜法之氏
　　事務局　八杉農林水産環境局長、幸田美化部参事、早柏エコパークあぼし所長、葛原係長、
　　大河内係長
４　傍聴者　なし
５　議　題
　１　モニタリングに係る調査結果と評価について
　２　令和８年度調査等のスケジュールについて
　３　その他

会議記録

発言者	内　　容
事務局	排出水からは、鉛、ヒ素、ホウ素、フッ素、アンモニア類、ダイオキシン類を検出しているが、いずれも基準値を下回っている。気になる点としては、排出水３のダイオキシン類で、で９．９pg-TEQ/ℓ、０．８９pg-TEQ/ℓ、３．６pg-TEQ/ℓ、０．８１pg-TEQ/ℓと少し高い数値を測定している。 海水の調査結果は、ヒ素、ホウ素、フッ素、アンモニア類、ダイオキシン類を検出しているが、基準値を超える物質はない。 地下水位は、網干港水位より高水位を保っており、地下水の pH は６．５～７．６の範囲であった。 ガスの測定については、③、№１、№３、№６、№７、№８、№１８、№２０、№２１、№２２、№２３で５％を超えるガスを測定しており、特に№２１では依然高濃度のガスが発生している。 地盤沈下の測定は、定点測定の結果、目立った沈下は認められなかった。
意見 （水質について）	●排出水３のダイオキシン類で高い数値が検出されている。埋立物由来だけでなく、焼却由来のものも考えられる。引き続き監視と原因究明をしていただきたい。
意見 （水位等について）	●　特段大きな変化は見受けられず、変動の範囲内と読み取れるため、引き続き経過観察をお願いしたい。
意見 （ガスについて）	●　ガスが出てこなくなったポイント数は増えており、安定化には向かっていると考えられる。
意見 （地盤沈下について）	●　ほとんど変動がなく、今後も継続的な監視により確認をお願いしたい。
意見 （R8 年度調査）	●　全体的には昨年度と変わらないが、ダイオキシン類、可燃性ガスについて引き続き注意をもって監視するということでお願いします。